

みんなの力で青少年を健全に育成

青少年をすくやかにか育成するには社会連帯性を強化することが大切であることから町内各地区に青少年健全育成会が昭和四十年に結成されている、その会長会議を七月二十三日に開催して、次のような認識の上に立って活動することを誓いました。

- 一、無関心や自己中心主義的、利己的な風潮は知らず知らずのうち青少年自身をそのような人間に形成させていくと思われるので、家庭・学校・職場・地域社会の大人の人々が連携を保ちながら連帯性を強化して行く。
- ①地区自治公民館の組織づくりと各部活動の振興を図る。
- ②PTA活動の充実を行う。
- ③家庭教育学級の振興に努める。

- 二、子供自身の自主性主体性を培わせるために青少年団体の育成と活動の促進をすることが大切である、そのため町内全地区毎に結成を完成する。
- ④子供会（小学校一年から六年まで）を現在の七会（小島・上中野・沢江・浅田・平野・上東方・中

村）を更に広げる。

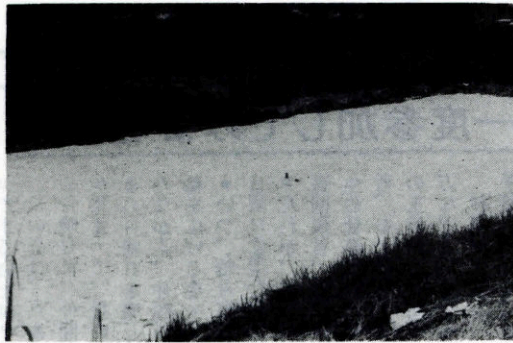
- ⑤スポーツ少年団、現在十団隊（劍道・柔道・沢江・小島・浅田・豊原・市・中村・宗頭・ボーイスカウト）を子供会と同じく拡充する。
- 三、ふるさと運動（仲間づくり）の推進により、青少年が地区の方々の協力をえて郷土の伝統、文化や生活環境の向上について活動を通じて自覚を高めさせる。

★上東方の健全育成会★

上東方子供会が発足したのは、今年の四月二日まだまだほんの赤ちゃんである。構成人員は小学生十一人、幼児四人、上は小学六年生、下はまだ二才、とその両親十六人、それに世話係一、四月二日に、公民館より大野先生と公民館長、部長にも来てもらい、親だけ集まって、なぜ子供会が必要なのか、話を聞いた。下工作は出来ていたので、早速その月の第三土曜日より、毎月第三土曜日開催と決定。四月十六日大野先生に来てもらい、子供会の役員を決め、A・Bグループの子と親別々に班長を決める。班構成人員のことも会則も大野先生にオンブ、子供会の運営方法を習う。その後、五月・六月・七月と三回、大野先生も公民館からもそれきり顔を出してもらえないが、六年生がしっかりしているし、お母さん方が熱心なので、少しづつ軌道に乗って来ている。小さい子等は特に子供会の日を待っている様だ、又、四月二日の時、子供の遊び場がほしい、河川敷の中にめったに水につかることのない所が有るとい話が出、部

- ①村田清風の業績の他、神楽舞、腰輪踊、お祭り行事を青年が現地で学習する。
 - ②村田清風の業績を偲び二十一軒をハイキングして体験することを子供、青年、一般の参加で行う。
 - ③遊び道具、祭り道具の創作と発表会を老人、父兄、子供会が連携して行う。
- 以上を重点といたします。

落長さんの骨折で、縦五十メートル、横十五メートルのグラウンドを作ることにした。六月二十二日部落総出で草を刈り、部落内の土木業者にブルトーザで草の根を起してもらい、七月二十四日に部落総出で、回りの藪刈りと真砂土を入れ地ならしをした。子供達も良く手伝い立派なグラウンドが出来た。



河の中に出来た子供の運動広場

った。ここ迄来るまでに部落長さんには何度も公民館や役場、又各漁業組合等に足を運ばせし、部落でも何度も集まって話し合いが行われた。このグラウンド、子供達はもちろん、大人の人々にも、健

★芽を出した中村地区子ども会★

次の世代を担う子どもは、世の中の多くの人々の愛情によって、生長して行くものです。すべての人々が、健やかに育てるべきであります。「自分の子どもだけ」と云うことは、禽獣と同じであります。中村自治会は、七部会を設け、特に、青少年部は、「あの子どももこの子どもみんなの子」の主旨をもって、青少年健全育成会を中心として、子ども会の育成に會員挙げて努力することになりました。

先づ、自治会として、場の提供と云うことで、公会堂を整備して親子の場とするため、夜間利用を考え、照明設備の増設をいたしました。又子どもを事故から守るため外部は勿論のこと、日常忘れがちである家庭内の危険物の点検処置次に、体力増進を図るため、体育部の提唱する、「縄とびしましゅう」に呼応して、丈夫な子どもを育て、子ども会の育成に力を注ぐことにしました。縄とびは、事故の発生しない場所、毎日すべての人々が行い交流を深めることにしました。

- 次で、子ども会の活動を促進するため、先進部落子ども会の足下にも辿りつきたいと思ひ、去る六月二十八日、親は無難なこと子どもをまたない人々も集まって（約六十五名）講師を招き、子ども会育成の研修会を開きました。又七月二十一日、「親と子どもの会」「子ども会」の自主活動について講師の話聞き、子ども会の組織作りにとり組んでいます。
- 当自治会の子ども会を、披露する段階ではありませんが、子ども会が、遅々として活動を進めつつあることを申し上げ、町公民館の叱咤激励を感謝し、町内子ども会のみなさんの絶大なる御支援御協力をお願い致します。
- 七月の子供会の決定事項
 - 一、夏休み中どのような事をしてすごすか
 - 勉強のこと
 - 計算ドリル、漢字ドリル
 - 自由研究、自由工作
 - 二、態度について
 - 姿勢をよくする
 - あいさつをする
 - クラツカなどの遊びをしない。
 - 礼儀を正しくする
 - むだ使いをしない
 - ごみを整理する
 - 年長者に対して言葉使いをよくする
 - 禁止場所で遊ばない

上東方青少年健全育成会長
野村 宏子

中村自治会

青少年健全育成会長

西村 彦夫